

ふれあいグループ各種項目の詳しい内容

あんしん・安全ネットワーク強化事業

ネットワーク対象者のなかで、日常生活がより心配な対象宅へ定期訪問し、暮らしの様子を把握することと併せて、専門職を含めた関係者同士の横のつながりを強化した幅の広い取り組みです。

あんしん・安全ネットワーク事業～ くらしあんしん事業（IOT）

人的見守りに加えて、IOT（インターネットにつながった家電）を活用した見守りを実施しています。

生活支援福祉事業

事業趣旨は、協力会員と利用会員からなる会員登録制による有償の生活支援事業です。協力会員は、利用会員の希望により、敷地内の草刈、はみ出した枝など地域福祉の増進を図ることを目的とします。

地域福祉活動活性化事業 （すわレインボーカフェ）

あんしん安全ネットワーク登録者の「孤独感の軽減、健康増進」などを事業の目的としています。今回の事業は、障害者就労支援施設が地域住民の「居場所作り」を目的にオープンしたカフェです。
①登録者の珈琲代を援助し、地域の方々と交流しやすくする。
②登録者が参加しやすいようなイベントを企画し、交流を促します。

巡回安全サービス事業

専門的な知識や技術を持つ市内の企業などと連携しながら、電気、ガス、消防、とんかちの会による家屋点検を実施します。

【住宅を狙った侵入窃盗事件が多発しています】

・県内では、2月14日（金）から2月20日（木）までの7日間に住宅を狙った窃盗事件を40件認知しました。

・被害を防ぐためには、

【外出時はもちろん、在宅時、就寝時も常に鍵を掛ける】

【防犯フィルムや補助錠を利用する】

【センサーライト、防犯カメラの設置】

など複数の侵入されにくい対策をとることが大切です。



また、夜間に鍵の掛けられていない玄関や窓などから侵入されるケースを10件認知しています。

諏訪地区でも住宅侵入窃盗事件が起きています。

・就寝前に鍵かけを再度確認する。

「センサーライトや防犯カメラ」の設置などの対策についてご検討をお願いします。

すわふくし

NO. 162

令和7年3月20日発行
諏訪地区社会福祉協議委員会

発行責任者 荒井 俊
(35) 0731

suwashakyo@net1.
jway.ne.jp

令和7年3月21日から令和7年4月20日の活動予定

ふれあいグループ

4月 9日（水）社協全体会議
4月18日（金）第1回地域包括連絡会議

介護支援グループ

4月9日（水）社協全体会議

高齢者支援グループ

さわやかクラブ
3月27日（木）Newバゴーン、反省会
4月 9日（水）社協全体会議
4月10日（木）お花見（ペタンク）

子育て支援グループ

おもちゃライブラリー
3月28日（金）スタッフの反省会
4月 9日（水）社協全体会議
4月11日（金）おもちゃ遊び

令和6年度を振り返って

諏訪学区の皆様方には、日頃より当学区の福祉活動に多大なるご協力をいただき心より御礼を申し上げます。

昨年を振り返ってみますと世界的なコロナ禍は一段落し安心したもの、ロシアによるウクライナ侵攻は3年を経過し、またイスラエルとパレスチナの紛争もまだ根本的な解決には至っていません。

また米国では前政権と正反対の強烈な個性の大統領が再選され「自国（分）ファースト」や「強い国（者）が勝つ」といった風潮が正当化されていくような危険な感じがしてなりません。

日頃私たちが目標としている体の弱い一人暮らし高齢者の見守りや子どものいじめ防止などの所謂「弱者を助ける」福祉活動と反対の考え方に違和感を覚えてしまいます。

また、埼玉県八潮市の下水道管破裂事故は私たちの生活に大きな支障をきたしていますが、これも日頃は目に見えにくい重要案件が突然目の前に出現した感があります。

私たちの活動も下水道管破裂事故のような日頃は目につきにくい重要案件を見極め、適切な対策をスピード感を持って、実行していきたいと思っております。

諏訪地区社会福祉協議委員会 荒井 俊

以下、今年度の諏訪地区社協のグループ活動を示します。

①ふれあいグループ

- ・定期訪問活動（生活の様子を把握）
- ・あんしん・安全ネットワーク強化事業
- ・くらしあんしん事業（IOT）
- ・生活支援福祉事業
- ・巡回安全サービス事業
- ・地域福祉活動活性化事業
- ・自主防災訓練

（①の各種項目の詳しい内容は4ページ参照）

②介護支援グループ

- ・認知症予防活動

③高齢者支援グループ

- ・さわやかクラブ
- ・ふれあいサロン

④子育て支援グループ

- ・おもちゃライブラリー
- ・諏訪小福祉体験事業

これらの活動はコミュニティ、地域包括支援センター、地区社協、民生委員児童委員、ボランティア、近隣協力者など多くの皆様のご協力で運営されています。

最後になりますが、皆様のかかわりご支援のほど心よりお願いし、ご挨拶に代えさせていただきます。



各グループ長から令和6年度を振り返って一言いただきました



ふれあいグループ

グループ長 田中 忠義

定期訪問活動（ふれあいチーム）

現在110チームが結成され、登録者に市社協から年4回ゴミ袋を配布しながら見守り訪問活動を実施しました。

生活支援福祉事業

ふれあいチーム登録者が利用できる事業です。今年、例年になく暑さがきびしかったのですが、ある一定の成果を上げることができました。

自主防災訓練（安否確認）

ふれあいチーム全対象者と避難行動支援者でふれあいチーム未加入者を合わせて148名の安否確認ができました。※今回はシーサイドマラソンがあり、参加人員が減少しました。



介護支援グループ

グループ長 中田 節子

アルツハイマー型認知症の進行を遅らせる新薬（レカネマブ）が誕生し、認知症医療は、新しい時代を迎えようとしています。

近くでは、日立総合病院と筑波大病院で治療が行われておりますが、対象は早期の方です。異常を感じたら、かかりつけ医、又は地域包括支援センターに相談して専門医に診てもらうことが大切です。

認知症予防教室はサロン、自治会の皆様を対象に生活習慣、食生活、口腔ケア、脳トレ体操、歌などを楽しく実施しております。

年2回は、地域包括支援センター小咲園の坂本さんに講話をしていただいております。

又、諏訪地区全体の皆様を対象に、昨年好評だった、スクエアステップを行い、頭も身体も使い、楽しく過ごせました。

外部研修は「成華園サテライト」を訪問し、最先端の施設の見学や包括支援センター成華園の「認知症予防」の話を伺いました。又、今年度は認知症関係の講演会が多くあり、4回参加しました。



子育て支援グループ

グループ長 大部絵利子

お陰様で今年もたくさんの親子さんにおもちゃライブラリーをご利用して頂くことができスタッフ一同うれしく思っています。

内容も季節の行事の他に、お母さんへの提案として2回おやつを作って、お子さん共々試食をしてよろこんで頂きました。

今年も毎回がんばってくれたスタッフに感謝です。

また、今年市内の交流センターからおもちゃライブラリー担当の方の見学会があり、実施している様子を見て頂き、それぞれに工夫していることや大変なことなどの意見交換をして、とても勉強になりました。参考にしていきたい事がたくさんできました。



高齢者支援グループ

グループ長 石塚 睦子

令和6年度のさわやかクラブでは、コロナ禍のため見合わせていた行事を行うことができました。

ひとつめは、再開された市の福祉バスを5年ぶりに利用し、海浜公園に行ってきました。秋晴れの青空の下で、シーサイドトレインに乗って見晴らしの丘に行き、コキア、コスモスの美しい小道を笑顔で散策しました。

ふたつめは、ひな祭りのゲームの後、机を向かい合わせにして、工作をしたり、お菓子を談笑しながら食べて、楽しい時間を過ごすことが出来ました。

令和7年度も皆さんが楽しい時間をすごせるように活動していきたいと思っております。

さわやかクラブにご興味がある方は、お気軽に体験にいらっしゃってください。**（申請に条件がありますので、詳しくは交流センター窓口まで）**ボランティアの皆様、関係者の皆様には大変お世話になりました。

